



SLP を管理します

NetApp SMI-S Provider

NetApp
January 02, 2026

目次

SLP を管理します	1
概要	1
SLP 設定オプションを指定します	1
slp.conf ファイル管理	1

SLP を管理します

概要

SLP サービスは WBEM サービスをブロードキャストします。SLP サービスが有効になっている場合、クライアントアプリケーションは CIMOM サーバーを検出できます。SLP 構成設定は 'slp.conf' ファイルを使用して指定することもできます

SLP サービスがまだ有効になっていない場合は 'SMIS slpd start' コマンドを使用して SLP サービスを開始できます。SLP サービスを停止するには 'SMIS slpd stop' コマンドを使用します

SLP 設定オプションを指定します

SLP .conf 構成ファイルを編集して 'サービスロケーションプロトコルデーモン (slpd)' サービスを管理できます

slp.conf ファイル管理

'slp.conf' 構成ファイルには 'サービスロケーションプロトコルデーモン (slpd)' サーバーを管理するための追加オプションがあります

場所

C : \Program Files (x86) \NetApp\SMIS\Pegasus\cfg`

権限レベル

有効なユーザ名とパスワードを持つユーザ

説明

'slp.conf' 構成ファイルを使用すると 'ホストが SLP 要求をリッスンするインターフェースの数と 'ホストがマルチキャストに使用する IP アドレスの数を変更できます

テキストエディタを使用して slp.conf ファイル。

パラメータ

- 'interfaces'

ホストが SLP 要求をリスンできる IP アドレスの最大数を指定します。

- 'multicast'

ホストがマルチキャストに使用できる IP アドレスの最大数を指定します。マルチホームシステムで SLP マルチキャストトラフィック用のインターフェイスを設定する場合、このパラメータを使用します。

- 'BroadcastOnly'

SLP 経由でメッセージを送信するときに、マルチキャストオプションを使用する代わりに、ブロードキャ

ストオプションを強制的に使用します。

- **'securityEnabled'**

受信した URL および属性リストのセキュリティをイネーブルにします。

例

次に 'slp.conf' 構成ファイルの省略例を示します

```
#####
# OpenSLP configuration file
# Format and contents conform to specification in IETF RFC 2614 so
the comments use the language of the RFC. In OpenSLP, SLPD
operates as an SA and a DA. The SLP UA functionality is
encapsulated by SLPLIB.
#####

#-----
# Static Scope and DA Configuration
#-----
# This option is a comma delimited list of strings indicating the
only scopes a UA or SA is allowed when making requests or
registering or the scopes a DA must support. (default value is
"DEFAULT");net.slp.useScopes = myScope1, myScope2, myScope3

# Allows administrator to force UA and SA agents to use specific
DAs. If this setting is not used dynamic DA discovery will be used
to determine which DAs to use. (Default is to use dynamic DA
discovery)
```

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。